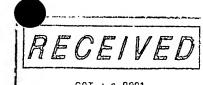
特許協力条約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]



OCT 1.5 2001

KOYO INTERNATIONAL TECHNICAL INSTITUTE, INC.

5 E

9376

3520

出願人又は代理人 の告類記号 F0436PCT	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。							
国際出願番号 PCT/JP99/06883	国際出願日 (日.月.年) 0	8. 12. 99	優先日 (日.月.年)	09.07.99				
国際特許分類 (IPC) Int, Cl' G06F3/02, G06F3/023, G06F3/033								
出願人 (氏名又は名称) リンク・エボリューション株式会社								
1. 国際予備審査機関が作成したこのE	1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。							
2. この国際予備審査報告は、この表制	2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。							
□ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で ベージである。								
3. この国際予備審査報告は、次の内容	を含む。							
I X 国際予備審査報告の基礎								
↓ Ⅱ								
Ⅲ □ 新規性、進歩性又は産業								
IV								
□ V 区 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるため。								
の文献及び説明 VI								
VII 国際出願の不備								
VII 国際出願に対する意見								
国際予備審査の請求費を受理した日 06.02.01	国際予備審査報告を作成した日 25.09.01							

特許庁審査官(権限のある職員)

田中 友章

電話番号 03-3581-1101 内線

東京都千代田区段が関三丁目4番3号

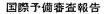
日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915

名称及びあて先

国際予備審査報告

国際出願番号 PCT/JP99/06883

I	. [国際予備審査幸	報告の基礎						
1	1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。 (法第6条 (PCT14条) の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17)								
	X 出願時の国際出願書類								
		明細也 明細也 明細也	第	ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の啓簡と共に提出されたもの				
		請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲	第 第 第 第 第	項、 項、 項、 項、	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの				
		图面 图面 图面	第 第 第	_ページ/図、 _ページ/図、 _ページ/図、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの				
		明細書の配列	列表の部分 第 列表の部分 第 列表の部分 第	_ページ、 _ページ、 _ページ、 _ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の客簡と共に提出されたもの				
2.	ل	上記の出願書類	質の言語は、下記に示す場合を	除くほか、この	の国際出願の言語である。				
	上記の書類は、下記の言語である 語である。 □ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語 □ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語 □ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語								
3.	3	この国際出願に	は、ヌクレオチド又はアミノ酸	配列を含んでは	おり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。				
	□ この国際出願に含まれる書面による配列表 □ この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表 □ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表 □ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった □ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。								
4.		前正により、7 明細書 請求の範囲 図面	下記の 書類が削除された。 第 第 図面の第	_ページ _項 ペーミ	ジ /図				
5.	5. □ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1. における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)								



国際出願番号 PCT/JP99/06883

L	v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につい 文献及び説明	ての法第12条 	(PCT35条(2))	に定める見解、 	それを裏付ける
	1.	見解				
		新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-4		
		進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1 – 4		有 無
		産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1 – 4		
L						

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1:JP 10-91305 A(株式会社東芝), 10.4月.1998(10.04.98)

文献 2:JP 11-65751 A(富士通高見澤コンポーネント株式会社), 9.3月.1999(09.03.9

9)

請求の範囲1は、文献1により進歩性を有しない。文献1の入力シートの受圧部が押下されたとき、発生した加重は垂直加重に変換され、該垂直加重以外の不要な加重は加圧変形により分散されているものと認められる。

請求の範囲2は、文献1により進歩性を有しない。文献1の入力シートはタッチパネル上に配置されている。

請求の範囲3は、文献1により進歩性を有しない。文献1の入力シートを情報処理装置のカバー部に代えることは当業者にとって容易である。

請求の範囲4は、文献1及び2により進歩性を有しない。文献2には保持回路に格納されている座標を利用して入力座標値を安定化する座標検出装置が記載されている。